

芝浦工業大学 2013年度男女共同参画推進シンポジウム 実施結果報告

芝浦工業大学男女共同参画推進室

I 参加者

シンポジウム参加者

	男性	女性	計
講演者および関係者	12	5	17
教員	10	9	19
職員	10	18	28
卒業生	—	9	9
学生	7	1	8
一般参加者	16	11	27
計	55	53	108

情報交換会参加者

	男性	女性	計
講演者および関係者	8	5	13
教員	2	5	7
職員	2	7	9
卒業生	—	5	5
学生	1	—	1
一般参加者	16	11	27
計	29	33	62

芝浦工業大学 2013年度男女共同参画推進シンポジウム アンケート集計結果

回収数 56枚

問1 ご自身についてお聞きします。以下該当する箇所にチェックをお願いいたします。

性別

男	女	無記入	計
25	30	1	56

年齢

10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上	無記入	計
—	5	9	14	15	10	3	56

所属

芝浦工業大学関係者					一般参加	その他	無記入	計
理事	教員	職員	学生	卒業生	20	3 (東京都市大学)	2	56
—	14	6	4	7				

問2 このシンポジウムについて、どのようにお知りになりましたか？

項目	人	%
大学内の案内	22	39.3
ポスター・チラシ	5	8.9
大学ホームページ	3	5.4
大学内の知人から	7	12.5
大学からのダイレクトメール	8	14.3
大学外の知人から	7	12.5
その他 (東京都市大学)	4	7.1
計	56	100

問3 今回の講演Iは今後女性研究者研究活動支援や男女共同参画推進を考える上で参考になりましたか？

項目	人	%
大変参考になった	23	46.9
まあまあ参考になった	22	44.9
どちらともいえない	4	8.2
あまり参考にならなかった	—	—
全く参考にならなかった	—	—
小計	49	100
無記入	7	
計	56	

問4 今回の講演Ⅱは今後女性研究者研究活動支援や男女共同参画推進を考える上で参考になりましたか？

項目	人	%
大変参考になった	18	36.0
まあまあ参考になった	27	54.0
どちらともいえない	5	10.0
あまり参考にならなかった	—	—
全く参考にならなかった	—	—
小計	50	100
無記入	6	
計	56	

問5 今回の学長対談は今後女性研究者研究活動支援や男女共同参画推進を考える上で参考になりましたか？

項目	人	%
大変参考になった	36	66.7
まあまあ参考になった	18	33.3
どちらともいえない	—	—
あまり参考にならなかった	—	—
全く参考にならなかった	—	—
小計	54	100
無記入	2	
計	56	

問6 今回のパネルは今後女性研究者研究活動支援や男女共同参画推進を考える上で参考になりましたか？

項目	人	%
大変参考になった	24	51.1
まあまあ参考になった	21	44.7
どちらともいえない	2	4.3
あまり参考にならなかった	—	—
全く参考にならなかった	—	—
小計	47	100
無記入	9	
計	56	

問7 今回の男女共同参画推進シンポジウムのような企画があれば参加しますか？

項目	人	%
また参加したい	26	48.1
テーマを見て判断する	28	51.9
あまり興味がないので参加しない	—	—
小計	54	100
無記入	2	
計	56	

問8 今回のシンポジウムの開催時期は適切ですか？ご希望の時期があれば具体的にお書きください

項目	人	%
適切である	50	92.6
適切でない	4	7.4
小計	54	100
無記入	2	2
計	56	56

→ 教員が参加しにくい日程であった
4月
11月
適切な時期は対象によって異なる

問9 今後、男女共同参画推進シンポジウムで取り扱って欲しいテーマがあればお書きください

注) 【 】は、担当者による分類

【女性の活躍促進】^{注)}

- ・イノベーションにおける女性の役割・効果・具体的事例
- ・ポジティブアクションの取組事例と導入時の方法・問題点
- ・技術職の女性（複数）
- ・理系女性に対するプレッシャーについて
- ・女子中高生への理系進学支援
- ・育児等をしながら活躍している女性社会人の話
- ・社会人の学び直し
- ・女性が学び直したり資格取得をするために活用できる制度について
- ・出産後の就学、職場での活躍への道

【女性教員、女子卒業生、在学生】

- ・女性教員や女子学生の生の声を聞く（複数）
- ・活躍するOGのシンポジウム
- ・女子卒業生の現状（周りの女子卒業生の中で理系の仕事を続けている人は少ない。日本の技術にとってもつたいない。男女共同参画が浸透していないのが問題なのか）
- ・学生による討論まで実現できればすばらしい
- ・男女共同参画についての、留学生をも含む学生対談
- ・國井秀子男女共同参画推進室長と女性のためのディスカッション

【男女共同参画社会形成】

- ・男性でも女性でも自由に働ける環境作りとその成果の評価
- ・男女共同参画における産学連携のありかた
- ・男性の意識改革（女性だけでなく男性にスポットライトを当てたテーマ）
- ・男が働き女が家事をするスタイルをどう変えていくか
- ・M字カーブにならない子育て

【大学の男女共同参画推進の取組】

- ・定期的を開催し、各学部学科における活動の進捗状況が報告されればさらによくなるのではないか
- ・本学を支えている女性事務職員（ヒアリングによる実態把握）

【その他】

- ・日本が世界一になるための戦略

問10 芝浦工業大学男女共同参画推進室への要望、シンポジウムの感想など、ご自由にお書きください

【内容について】

- ・両学長対談は本音を語って頂き、非常によかったと思う。両学長のリーダーシップが素晴らしい。
- ・理事長、学長、学部長の“総動員体制”は全国の大学でも初めてではないか。毎年1回、全国の大学をリードするテーマで実施してはどうか
- ・パネリスト全員が男性（学部長、研究科長が男性オンリーという事実は別にして）でこのようなディスカッションができたことは非常に素晴らしいと思う。学部、研究科のトップから意識改革の必要性が確認されることは大切である。
- ・女性が話す場があってもよかったのではないか（女性教員の生の声）
- ・若手女性教員の声を聞く機会、育児・介護の課題への取組を聞く機会、交流会を楽しみにしている。
- ・女性教職員や女子学生を増やす試みは理解できるし、進めなくてはならないと思う。一方、保育の受け皿をどうするかが大きな問題である。日本の社会の現状に即した解決策は何なのかを考えてほしい

【プログラムや方法について】

- ・講演より、対談、パネルなどの方が聞きやすい
- ・パネリストと参加者の意見交換の時間があつたらよかった
- ・時間は3時間が限界ではないか
- ・予定された時間に対し、設定された議論や説明が多すぎるせいか、すべて中途半端な時間切れとなってしまった感がある
- ・司会者による講演者の紹介に際し、紹介内容（履歴等）が多く長い印象だった

【参加者について】

- ・空白学科の教員を参画させる仕掛け作りを。
聞いてほしい人はこのようなシンポジウムには参加してくれない。日常的啓発が必要
- ・本学教員の参加が少なく残念だった。学生対象の啓発活動も希望する
- ・もっと、本学の男性教員に参加してほしい。

【男女共同参画推進の取組について】

- ・芝浦工大の取組を企業に積極的にPRされてはと思う
- ・女子学生が興味をもつ、持たせるためのアプローチを行っていることを知り、芝工大を見る目が少し変わった
- ・教員募集を数年前からアナウンスしておけばそれを目指してがんばる人が出るのではないかと
- ・いろいろ勉強させてもらった。全学的活動になるとよいと思う
- ・末長く活動を続けてほしい
- ・ぜひシンポジウムのレポートを多くの人に見てもらえる形で公表してほしい

【女子学生】

- ・私は私立女子高校から指定校推薦で芝浦工大に入学した。女子高を重点的に回っているお話や、理工学研究科長のお話を聞き、チャンスがあれば女子卒業生として女子学生に直接話をしたいと感じた。
- ・「女子学生が1人ではきつい」という話があったが、理工系の女子学生は他の分野の女子学生よりはタフだと思う（私がそうだった）。
 - ・「幻の赤ちゃん」は難しい問題である。企業では入社試験で聞くところが多いかもしれない（私も聞かれた）。数年来学生の入社試験の履歴書作成、面接指導を担当しているが、やはり「自分の人生の青写真をもって面談に望むよう」伝えている。結婚はともかく、また、産まない選択もあるが、出産育児と自分のキャリアをどうするか、どうしたいかは重要である。行き当たりばったりでは出産育児をしながらのキャリア形成はできない
- ・理工系を志望する女子学生は増加したと思う。地道な活動が必要と思う。

私が卒業した県立“女子校”はSSHの2年目である。2月に成果発表会があり、招かれて参加した。女子高校生は高校の授業レベルを超えた次元の研究を行い発表していた。彼女らには、女子云々を感じなかった。理系進学に男女は関係ない。大学も社会も企業も、女性だから理系はできないという考えは捨てて、おむつつをしているところから何気に自然科学系に触れさせてあげ、本人が好きと思えば男性以上にのめり込んでいく女性はいらざるはずだ。

【シンポジウムの開催について】

- ・開催に感謝する。これからも続けてほしい。男女関係なく知ってほしい、また、芝浦工業大学だけでなく日本全体の問題だから
- ・全体を通じて、大変参考になった。新たな刺激を得られた。（複数）
- ・会開催への謝意（複数）

【その他の感想】

- ・国井さんにお会いできて嬉しかった
- ・本学の女性職員は独身が多く出産を経験している方が少ない。母性愛というより仕事と割り切っている方が多く見受けられる。好きな仕事をしたい＝行動範囲が狭いのでは？女性としても活躍の場はあるはず。男女共同参画には高い視点から「多様性を尊重し、個人個人の能力を引き出し、それが組織の価値となるよう活かす」がポイントであるということが勉強になった。
- ・笑いをとる、つかみを行うために過去や他人をあげつらうことは聞いていて気になる